

こんなことに
取り組めます!

○富山の個性を生かした経済基盤の確立

北陸新幹線が開業し、富山は新しい時代を迎えます。
三大都市圏と等距離にある地理的優位性を生かし、日本海側の拠点都市としての地位を確かなものにするための施策を促進します。

○富山から発信!新しい地方都市のかたち

地方にこそ日本の真の素晴らしさがあります。
豊かな自然や食文化、地域の伝統や農業など地方都市ならではの魅力と経済的な豊かさが共存するコンパクトで成熟した都市づくりを促進します。

○安心な地域社会の実現

人口減少、少子化、高齢化という時代の中で誰もが安心して暮らせる医療・介護の環境整備や子育て支援策に取り組めます。

永森直人後援会事務所開設のお知らせ

平成27年4月12日施行の富山県議会議員選挙を見据え、後援会活動の拠点を開設いたしました。

是非、ご来所いただき、地域の声を届けていただきますとともに、本人を激励いただければと存じます。

住所：射水市新開発475番地
電話：0766-52-5266 FAX：0766-52-5268



富山県議会議員

永森直人 (ながもりなおと)

〈略歴〉

昭和50年1月20日生まれ

高岡南高校、東京都立大経済学部卒業

住所 射水市三ヶ2535-6

家族 妻、長男、次男(ともに小学生)と4人暮らし

平成9年4月 富山県庁入庁

ロシア・ウラジオストク派遣留学、広報課、

高齢福祉課主任などで各種施策に取り組む

平成22年9月 富山県庁退職

平成23年4月 富山県議会議員に初当選

(所属党派 自民党富山県議会議員会)

所属委員会 厚生環境常任委員会

〈主な役職〉

- ・自由民主党小杉連合支部幹事長
- ・射水市消防団三ヶ分団長
- ・射水市「歴史と文化の薫るまちづくり事業」実行委員長
- ・旧北陸道アートin小杉実行委員長
- ・NPO法人日本応急手当普及員協会顧問
- ・小杉ライオンズクラブ所属



「とやま新時代」を創る
次なる挑戦!!



永森直人県議会通信 Vol.8
(H27.1月発行)

-発行-
自民党富山県議会議員会
永森直人

〒939-0306 射水市手崎363-1
TEL.0766-55-3533
FAX.0766-55-3577

E-mail
nagamori-naoto@vivid.ocn.ne.jp

Challenge spirit Vol.8

平成27年1月号
(H27.1発行)

なが もり なお と 永森直人県議会通信

ご挨拶

本年3月14日の北陸新幹線開業がいよいよ間近に迫ってきました。

首都圏とのアクセス面において新幹線開業先進県との格差が解消され、東京、大阪、名古屋と等距離にある本県の強みがますます発揮できる環境が整うこととなります。

人口減少社会、少子高齢化などにより「地方都市の崩壊」を懸念する声が高まっていますが、この北陸新幹線開業をまたとないチャンスと捉え、観光振興や企業立地など開業効果を県の発展にしっかりと結びつけていかななくてはなりません。

さらには、東海北陸自動車道の全線4車線化や富山新港の港湾設備充実に取り組み、中国などのアジア諸国、ロシアや欧州諸国への日本海側の玄関口としての地位を確立していくことが今後の大きな課題であり、しっかりと取り組んでいきます。

一方、射水市においても、本年は大型コールセンターや大型倉庫型商業施設「コストコ」の開業、天皇皇后両陛下のご臨席が通例となっている「全国豊かな海づくり大会」が開催されるなど追い風が吹いており、大きなチャンスを迎えています。

もともと、射水市は、立山連峰をバックに、コンパクトな範囲に里山があり田園があり世界に開かれた玄関口・富山新港をもつ、まさに富山県の魅力を凝縮した力のある都市です。射水市民が一丸となれば、富山県の新時代を切り拓く新しい都市の姿をこの射水から発信していくこともできると考えています。

そのためには、これまでの政策の延長線上ではない、新しい政策、新しい政治の姿が求められており、市民のニーズやアイデアをしっかりと吸い上げ、長期的な視点にたった展望を持って仕事ができる一層充実した地方議会を作り上げていくことは大変重要です。

今年一年、充実した県議会を作り上げていくために、一層の研鑽を重ねたいと思っておりますので、皆様方には、引き続きのご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



平成26年9月県議会、11月県議会で質問いたしました。

問 若年人口流出防止のために県立大学の機能強化に取り組む必要があるかどうか？

答 平成27年4月に独立行政法人とし、機動性、透明性を高めるとともに、魅力あるキャンパスの整備も重要と考えており、環境工学科棟の整備や県民からも親しまれる構内環境の整備に取り組み、日本海側を代表する工学系大学として発展していくように準備を進めていく。



問 企業の地方進出や既存企業の事業拡張などに迅速に対応するため、大規模な農地転用許可権限の移譲を国に求めるべきである。

答 農地転用は2ヘクタールを超えると国との協議、4ヘクタールを超えると国の許可が必要となっている。国に対し、強すぎる関与を見直し、農地の総量確保について都道府県が相当の役割を担い、地域の実情に合わせて調整を行える仕組みの構築を求めている。

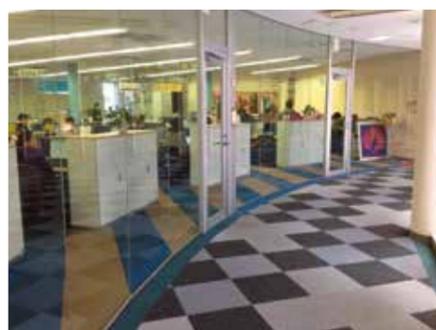


問 射水市においては、大型コールセンターやコストコの開業を控えているが周辺の道路整備や信号の新設等の支援を迅速に行う必要があるかどうか。

答 開発によって周辺道路に渋滞や交通事故が発生しないように開発事業者と道路管理者が適切な役割分担のもと、必要な対策を取っていく。コールセンター「プレステージインターナショナル」の立地については、県道小杉婦中線の路肩の拡幅整備を進めてきている。



プレステージインターナショナル「富山BPOタウン」建設現場



(参考) プレステージ秋田BPOの様子

問 コストコで県産品を扱ってもらったり、屋外に県産農産物の販売スペースを出させてもらうなどコストコに集まる県内外の消費者を地域の活性化につなげよ。

答 平成27年1～2月に地場産品のコストコでの取扱いに関する説明会を開催すると聞いているほか、地場産品の販売フェアについても前向きな回答をもらっている。県産品の店舗での取り扱いも前向きに検討してもらっている。射水市と連携し、コストコ開業を地域の活性化につなげる。

問 北陸新幹線の開業により関西圏との交通アクセスが弱くなるとの懸念があるが、県としてどのように取り組んでいくのか。

答 新幹線の金沢・敦賀間について開業時期を3年前倒しし、平成34年度の開業を目指すこととされている。敦賀開業後は、暫定措置としてフリーゲージトレインの導入が見込まれているが、技術的課題もある。県では、早期のフル規格整備を求めるとともに、富山-伊丹の航空便の開業についても全日空に粘り強く働きかけていく。

問 富山高岡広域都市計画区域マスタープランに基づき、今後、具体的な市街化区域の新規編入が行われるが、新幹線開業効果を活かすためにも、早期の手続き完了を目指せ。

答 前回はマスタープラン決定後3年の月日を要した。今回はなんとか2年を目途にし、平成28年の夏ごろまでに完了させたい。

トピックス

自民党富山県連政調会による射水市現地視察

～七美太閤山線について北部線まで側道の先行供用を要請～

昨年10月28日、自民党県連政調会の宮本会長（県議）をはじめ政調会の皆様に射水における重点要望箇所の現地視察をしてもらいました。

自民党射水市連からは北陸本線の越中大門駅北口の設置、都市計画道路七美太閤山線の整備促進、新庄川橋の架け替えの3点です。

大門駅北口については、北口の出口となるべき箇所に工場が立地している関係上、難しい部分もありそうですが、北陸本線3セク後、改めて課題を整理する必要がありそうです。実現すれば、鉄道利用者、鉄道事業者とも効果は高いものと思っています。



七美太閤山線完成イメージ図

七美太閤山線については、本年3月末に旧8号線まで部分開通しますが、全線開通となる北部線までの立体化には、さらに3年程度要する予定です。

そこで、事業効果が少しでも早く発揮されるように、旧8号線から北部線までの高架道路と並行して走る側道部分を先行して開通してもらえよう調査検討を要望しました。

このことにより、側道とはいえ道路として北部線までつながることになります。工事の進め方、信号機の設置等の技術的、予算的課題もありますが実現に最大限努力するつもりです。



七美太閤山線要望の様子